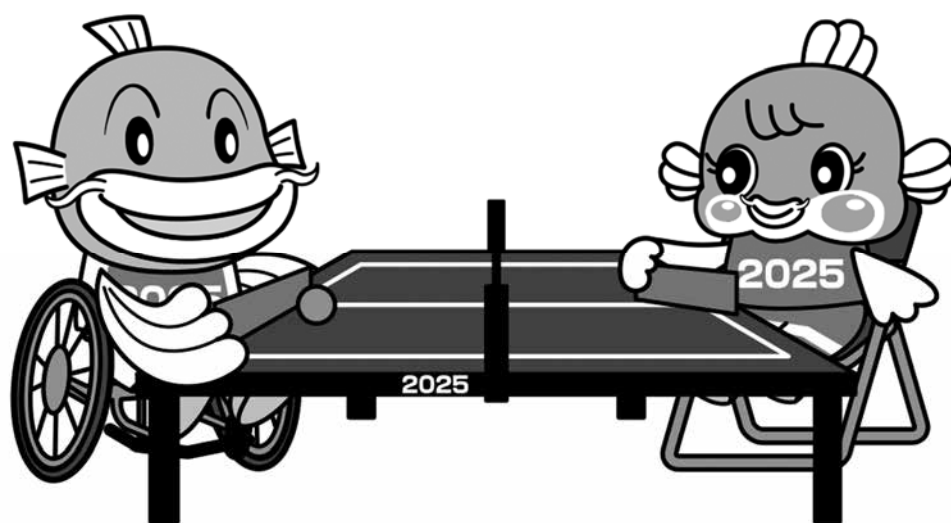


たつきゅう
卓球バレー

りっとうし みんたいいくかん
栗東市民体育館

きょうぎ び がつ にち にち
競技日:10月12日(日)



第24回全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA 輝く障スポ」 オープン競技 卓球バレー競技 兼 全国交流大会 開催要項

1. 開催趣旨

日本発祥の「卓球バレー」は、究極のユニバーサルスポーツとして近年急速に全国各地に普及している。今回の開催は、全国交流大会として11回目、全国障害者スポーツ大会オープン競技としての採用は9回目となる。全国の卓球バレーチームが集い、トップレベルの技術とチームワークを競い合うと同時に選手及び関係者が親睦を深める交流の場となることで、卓球バレーの普及と生涯スポーツの推進及び社会福祉の向上、そして共生社会の実現に寄与することを目指す。

2. 主 催 日本卓球バレー連盟

3. 主 管 日本卓球バレー連盟中ブロック、滋賀県卓球バレー協会

4. 協 力 滋賀県パラスポーツ指導者協議会、栗東市スポーツ推進委員協議会 等

5. 開催日程 2025年10月12日(日)

時 間	内 容
8:45～9:35	受付
9:20～9:35	代表者会議
9:45～10:00	開会式
10:20～10:50	午前の部（第1試合）
10:50～11:20	午前の部（第2試合）
11:20～11:50	午前の部（第3試合）
11:50～12:20	午前の部（第4試合）
12:20～13:20	昼食・休憩
13:20～13:50	午後の部（第5試合）
13:50～14:20	午後の部（第6試合）
14:20～14:50	午後の部（第7試合）
14:50～15:20	午後の部（第8試合）
15:40～16:00	閉会式

7. 会 場 栗東市民体育館
(〒520-3014 滋賀県栗東市川辺 390-1 TEL:077-553-4321)

8. 参加資格 身体・知的・精神のいずれかの障害者手帳を有する者(もしくは、手帳の取得

が無くてもいずれかに準ずる障がい者を有する者)及び健常者。ただし健常者にはクラス別に人数制限を設ける。

9. 募集チーム数 ・チャレンジクラス(各ブロック代表チーム) 16チーム
 前回優勝チーム:1、各ブロック枠:12(各4枠)、
 開催県枠:1、特別枠:開催地ブロック1、招待枠:1
 ・若アユクラス(上記以外のチーム) 16チーム程度
10. 競技規則 本大会は 2023 年度版日本卓球バレー連盟競技規則および本大会規定により開催する。
11. 競技方法 予選は 3～4 チームによるリーグ戦(リンクリーグ方式)を行い、その後決勝トーナメントおよび交流戦を行う。予選リーグは、1セットは 15 点とし、2 セットマッチ(引き分けあり)、順位決定は勝率、直接対決の勝敗、得点率(総得点÷総失点)の順とするが、それでも決まらない場合はジャンケンにより決定する。決勝トーナメントへは、予選各リーグの 1 位と 2 位のチームが進出する。3 位以下のチームについても最低1試合以上の交流戦を実施する。ただし、参加チーム数により試合形式を変更することがある。
12. チーム編成 1)1 チームの編成は、監督 1 名、選手 12 名以内とする。
 2)監督またはコーチ等が選手を兼ねる場合は、選手名簿にも登録されていないければ 選手として出場することができない。この場合、選手の人員は、選手を兼ねる監督またはコーチ等を含めて 12 名以内とする。なお、必要に応じて若干名のコーチ、手話通訳者、介助者等のベンチ入りを認める。
 3)プレーヤーの中に、次の通り障がいのない者を含むことができる。ただし、ブロッカーとして競技することはできない。
 ①チャレンジクラスは、同時に試合に出られる健常者は 1 名以内とする。
 ②若アユクラスは、同時に試合に出られる健常者は3名以内とする。
 4)監督・ゲームキャプテン・障がいのない選手は、腕等に主催者側で用意したマークを付けるものとする。
13. 服 装 統一した色・模様のもので、且つ背番号などが見やすいユニフォームを着用するのを原則とする。ただし、ビブスの着用やゼッケンを貼り付けて代用することを認める。
14. 表 彰 表彰は、各クラスともに上位 3 チームまで(3 位決定戦を実施)とする。入賞チームには賞状およびメダルを授与する。

15. その他 1)大会出場にあたっては、事前に医師の診察を受けるなど、自己の責任において健康及び安全に十分留意すること。なお、主催者においてはレクリエーション保険(大会当日のみ対象)に一括加入する他、看護師等による応急処置のみを行うものとし、それ以上の処置を要する場合は各チームで対応すること。
- 2)大会中に主催者および主催者が依頼した者によって撮影された画像は主催者が管理する。また主催者が認めた、各種報道機関、関係団体のホームページ及び SNS で紹介する場合もあるため、各種メディアに掲載不可の場合、大会本部に連絡すること。
- 3)適切な水分補給をして、熱中症の積極的な予防を心がけること。汗をかいた時などは水分とイオンを同時に補給することを心がけること。